



一人一人の可能性を尊重し、生きる力を育てる学校

# 9月学校だより

令和6年9月2日  
東京都立羽村特別支援学校  
校長 井上 一仁

文責：副校長 有馬宏子

## 人権週間（毎月第2週目） ～守ろう子供の権利、傷つけない子供の未来～

9月第2週目のテーマ

- あいさつの徹底
- 「さん」付けの呼称の徹底

本校は、人権尊重の精神に基づく教育活動を推進するために、2学期から毎月第2週目を本校独自の人権週間とします。各月にテーマを設定し、人権尊重の意識向上を目指します。

## この夏のこと

昨年同様、2024年も各地で連日、最高気温35度以上の猛暑日が続いています。また、安定した夏空が続かず、急な雨や雷雨が多くなっています。暑さ寒さも彼岸までと言いますが、9月中もまだ30度を超える真夏日を記録することが多く、秋の到来は平年より遅れる予報とのこと。学校では熱中症対策を万全にしながらか進めてまいります。体調面を始め、夏季休業中の皆さんの様子について共有させていただきながら、安心・安全な学校生活が送れるようにしていきたいと思ひます。ぜひ御協力の程お願い申し上げます。

### ●夏季研修会●

本年度、本校では「児童生徒の実態に応じた学習指導要領に基づく授業づくり」のテーマのもと、研修研究部が中心になり教員自身の学びを深めています。この夏季休業中は、自主的に研修会を開催するなど一人一人の教員が様々な研修に励みました。また、学校としても、教職員の人権感覚を高めるため、障害に関する専門性、指導力に関連した外部講師を招いた研修会や教材展などを開催しました。

- ・「あらためてダウン症を知ろう～かわりを考える～」  
(東京学芸大学名誉教授：菅野 敦氏)
- ・「自閉スペクトラム症への支援」  
(東京都教育委員会外部専門員：宮田昌明氏)
- ・「強度行動障害について～児童・生徒の人権を守るために～」  
(国立重度知的障害者総合施設のぞみの園：星野亜希子氏)
- ・「感覚統合について」  
(多摩リハビリテーション学院長：林 義巳氏)
- ・「作業学習について～小・中・高等部の連携～」  
(東京都教育委員会就労支援アドバイザー：若杉哲文氏)
- ・「性と対人関係等、複雑なニーズを抱える生徒へのKeep Safeプログラムの実践  
～なぜ今、新しい実践方法が必要かその背景を考える～」  
(白梅学園大学教授：堀江まゆみ氏)
- (玉川大学教授：成川敦子氏)
- ・「NCプログラムの活用方法」  
(東京都教育委員会外部専門員：加藤愛香氏)
- ・「発達障害のあるお子さんへのポジティブ行動支援～お子さんの行動を見て、支援を考える～」  
(岐阜大学教授：平澤紀子氏)



### 研修を受けての教員の感想を一部御紹介いたします。

- ・ダウン症の子どもに対して、人懐っこさや笑顔で活動を拒否する行動の真意は、「気分的にやりたくない」からではなく、「分からない」からであるということは衝撃でした。また、動かなかったり、拒否したりすることは、見通しがもてなかつたり、分からなかつたりしてパニックを起こしている状態と知ることができてよかったです。

(右上に続く)

- ・児童とのやりとり（相互作用）を通して児童との関係づくりを深めていく重要性を改めて認識しました。たとえ忙しくても、一人の行動をつぶさに観察し、すぐに称賛する姿勢を忘れないようにしなければと改めて思いました。
- ・「子供の行動を単純化しない」ことは、とても大切なことだと思いました。自閉症だから、こういう子だからと単純に考えずに、「なぜこれをしたのか」「なぜここで不安定になるのか」を考えながら子供たちと関わりたいと思います。
- ・適切な支援が受けられなかったことで二次障害を起こすことがあることをいつも心に留めて日々の指導に当たっていきたく感じた。児童の様子をよく観察し意図を読み取って支援していきたい。
- ・感覚という人間の根幹部分の成長・発達が未熟なままだと、学習が積み上がっていかない事実を改めて実感することができました。2学期から授業前の生徒とのコミュニケーションの中で、実践し実態の把握に努めていきます。
- ・小学部においては作業学習という授業はないが、将来の職業スキルの獲得のため、低学年段階から指導が重要であることが分かった。特に低学年段階からは身辺自立を確立したり、児童に応じたコミュニケーションの方法を獲得したりしていくことが重要であると感じた。また、できることを増やしていきながら自己肯定感を高めていくことで、物事に対する意欲や取り組む姿勢を培っていくことができるため、児童の主体性を大切にしながら指導を行っていきたく思う。
- ・「直す生活指導」ではなく、「育てる生活指導」というワードに感銘を受けました。一人一人の個性や長所を生かしながら指導していきたいです。
- ・叱る、言い聞かせることが本人にトラウマを起こしてしまうリスクや、選択権すら与えられないことでのリスクについて考えさせられました。自分でgoodを選択できる力は自分で選択する経験を積むことから培われていくのだと思いました。
- ・生徒が社会に出ていく前に、犯罪などをすることを自ら踏み止まるよう支援していくことは、

急務であると感じた。本人の困り感や不満などを捉えて適切に支援していく方法として、キープセーフプログラムの実践は、とても参考になった。

- ・NCプログラムは、毎年児童のアセスメントに活用しているが、今回の研修を受けて改めて活用方法を知ることができた。発達のタイプに応じて指導の進め方や、領域を定めていくということを知り、検査を行ってから児童の指導に生かしていきたいと思った。NCプログラムを実施すると児童の実態がよく分かり、指導の手立てになるため、2学期実施する際にスムーズに行うことができるようアセスメントの進め方を改めて確認しておきたい。
- ・行動を分析し、問題行動の起点をつきとめ、その起点を変えることで望ましい行動へ導き、行動を強化していく取り組みを知ることができました。先生の事例への具体的なアドバイスも分かりやすく、「ほめる」ポイントやタイミング、その「ほめる」ことを行うためどのような準備をすればよいかを知ることができました。
- ・気になる行動の子供たちについて、つい注意が中心の指導になってしまっていたことに気付いた。認める、ほめる、代替行動の提示によるポジティブなサイクルを作れるよう実践していきたい。

### ●教材展・教員向け教材作り●

本校教員が使用している教材を校内や学区域内の関係機関を対象として展示し、直接手に触れて体験を通して特別支援教育の充実・発信をめざしました。



(右上に続く)

## ●地域交流からの生涯学習支援●

地域交流の一環として、8月25日(日)に福生市のGONAが主催するスマイルスポーツフェスティバルに高等部の運動部の生徒を中心に参加してきました。本校は、「フライングディスクで円形ゴールをねらう”アキュラシー”」の体験ブースを出展し、多くの来場者を迎えることができました。本イベントは、「スポーツしてみよう」「スポーツ見てみよう」「美味しく食べよう」「アートしてみる?」といったブースがあり、他ブースでの体験などを通して地域の方々との交流の機会をもち、充実した一日を過ごしました。

児童・生徒たちが学校卒業後も生涯を通じて教育や文化スポーツなどの様々な機会に親しむことができるよう、学校の授業や福祉サービスなどを連動させながら支援していくことが重要だと考えています。

今回の参加は、昨年度2月17日(土)に開催した「フライングディスク交流会」や、「東京都障害者スポーツ大会」への参加に引き続くものとして実施いたしました。

在学中の取り組みと卒業後の生活を“つなぐ”ことをテーマとして、本校の児童・生徒の皆さんの生活がより充実するよう、さらなる機会を拡大させていきたいと考えています。



## ●部活動●

バドミントン部では日本パラバドミントン連盟の方をお招きし、「パラバドスクールキャラバン」を実施しました。また、侍ジャパン Baseball15の監督、代表選手、桜美林大学の学生の皆さんにお越しいただき、「ベースボール5」体験会を実施しました。各運動部では暑さに負けず盛んに活動し、他校との交流や練習試合に臨みました。

各運動部では暑さに負けず盛んに活動し、他校との交流や練習試合に臨みました。

(右上に続く)

その中でも今回はサッカー一部の試合結果を御報告いたします。第3回全国特別支援学校フットサル大会東京都予選が7月26日(金)滝野川体育館にて開催されました。



### <結果>

1 試合目	羽村 v s 都立南大沢学園	4-0
2 試合目	羽村 v s 神奈川県立日野中央	5-1
3 試合目	羽村 v s 都立東久留米特支	13-0
	↓グループ1位で通過	
決勝戦	羽村 v s 都立永福学園	2-1

**見事に都大会を予選1位で通過  
8月29日(木)関東大会(滝野川体育館)へ進出!**

### <関東大会結果>

1 試合目	羽村 v s 都立永福学園	1-3
2 試合目	羽村 v s 桃花台(山梨)	4-0
3 試合目	羽村 v s 都立南大沢学園	1-3

第3位となり、全国大会出場とはなりませんでしたが最後まで諦めない姿は素晴らしかったです。



## 9月予定

	行事	下校
1日(日)		
2日(月)	始業式：全校0便下校 安全指導日・点検日	全校 11:30
3日(火)	給食開始	全校 15:40
4日(水)	高2・3現場実習始 高1インターンシップ始	小低・中 14:00 小高・高 15:40
5日(木)	個別面談週間～13日	小1・2 14:00 小3～中・高 15:40
6日(金)	中高短縮1便下校	全校 14:00
7日(土)	本人講座羽村ひろびろカレッジ	
8日(日)		
9日(月)	中3修学旅行説明会 13:30～14:30 (中多目的室) 高:事前相談④9:20～12:30 (内部)	小 14:00 中・高 15:40
10日(火)		全校 15:40
11日(水)		小低・中 14:00 小高・高 15:40
12日(木)	高短縮1便下校 摂食相談	小1・2・高 14:00 小3～中 15:40
13日(金)	個別面談週間終	小 14:00 中・高 15:40
14日(土)		
15日(日)		
16日(月)	敬老の日	
17日(火)	安全指導日	全校 15:40
18日(水)	避難訓練 療育相談 PTA運営委員会 10:00～15:00 (応接室)	小低・中 14:00 小高・高 15:40
19日(木)	小5移動教室(高尾の森わくわくビレッジ～20日) 中2移動教室説明会 10:30～11:30 (中多目的室)	小1・2 14:00 小3～中・高 15:40
20日(金)	水泳指導終	小 14:00 中・高 15:40
21日(土)		
22日(日)	秋分の日	
23日(月)	振替休日	
24日(火)		全校 15:40
25日(水)		小低・中 14:00 小高・高 15:40
26日(木)	授業参観期間～28日	小1・2 14:00 小3～中・高 15:40
27日(金)		小 14:00 中・高 15:40
28日(土)	土曜参観日 中高短縮1便下校 秋の教材展	全校 14:00
29日(日)		
30日(月)	振替休業日	